

さわやかハイク・個人山行報告書

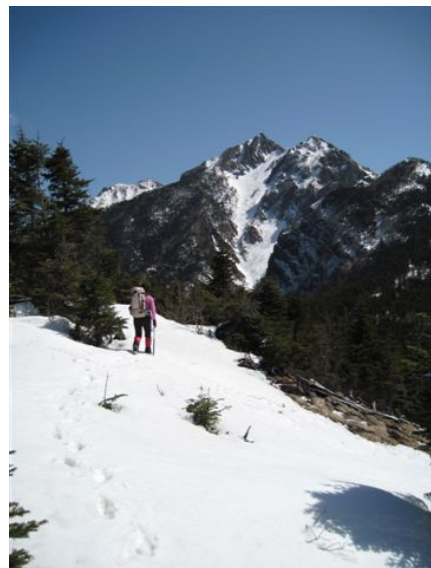
通算山行 NO	個人山行	報告者	石和加代子
年 月 日	2010年03月20日(土・快晴風強)	2万5千	八ヶ岳西部
山 名	南八ヶ岳・西岳(2398m)～編笠山(2534m)		
体力度=4・ややきつい    技術度=3・普通    道標=ある    駐車場=ある トイレ=ない    展望度=よい    三角点名=編笠岳    等級=二等			
<b>岩と雪の南八ヶ岳</b>			
コース とタイム	長泉発5:00—広原柳川林道ゲート前P発7:30—不動清水7:55—西岳10:15—青年小屋・昼食11:30～12:00—編笠山12:30—林道ゲート前着14:45—長泉着18:00		
標 高 差	上り 広原柳川林道ゲート約1410m～西岳2398m=約988m 青年小屋約2380m～編笠山2524m=約144m 下り 編笠岳2524m～ゲート約1410m=約1114m		
参 加 者	L後藤隆徳・石和加代子		

天気が良ければ雪の権現岳を登る、ハーネス持参という指令に、ちょっと怖気づく。

中央自動車道を走っていくと、少し霞んでいるが左に南アルプス甲斐駒ヶ岳、右に広大な山麓八ヶ岳が見えてくる。心が躍る。小淵沢ICを降り北上。ところが観音平登山口への道は冬期閉鎖(12月～4月下旬)されていて、ゲート脇に2台駐車されていた。ここから歩くのは大変ということで、急遽別ルートに変更。鉢巻道路を走り、富士見高原別荘地(メイプルヒルズ)を右折し、上っていくと広原柳川林道にゲートがあった。広い駐車スペースがあったが車はとまっていない。

さあここからの林道歩きは平坦だ。20分ほど進むと、分岐の道標がある。左は不動清水、西岳。右は盃流し、編笠山へ。青年小屋までは西岳経由の方がコースタイムが20分ほど短い。山男の後藤さんでも、なぜかまだ西岳には登ってないという。西岳経由をとることにして、5分ほど林道を歩くと広場に便所と古い沈み込んだ青いベンチがあった。不動清水の横からカラマツ林を登っていくが、林道を3回ほど横切る。えっまた林道!がっかりする。けっこう暑い。汗が流れる。勾配がきつくなっていく。凍っている所もあるのでアイゼンをつける。樹林帯がおわり、南尾根のガレ場になると青空で展望が良くなる。2時間45分で西岳頂上に着く。標高差約1000mを直登の感じだった。頂上は広く樹木もあるが、東正面には遮るものはなく、迫力のある雪の岩肌のギボシがスクッと立っている。めざす権現岳はその奥だ。

西岳では休むことなく、また樹林帯に入ってい



く。登り返しが大きい。人が入ってないのか、木にまかれたテープをたよりに下るが道がわかりにくい。青年小屋の屋根がはるか遠くに見える。源治新道50分とは到底思えない。雪が深く、足がズボズボと落ちて、ダンゴ状態になるので、アイゼンをはずして下る。ようやく青年小屋に着く。権現岳と編笠岳の鞍部に位置し、よく陽が当たっていた。風をよけて、昼食をとる。2時間登れば雪の権現岳だが、ちょっと疲れた、時間も足りない。今回は権現岳はやめることになった。

12時、笠を伏せたような丸みの山容の編笠山へ向かう。丸みのあるごろごろ大岩を越え、雪の林を登ると、30分で岩塊を敷きつめた広い編笠山頂上に着く。360度の展望で、これが至福の時だ。予報では明日の天気は大荒れだが、南西に下るこの道は風が強い。風にあおられバランスをくずさないように気を引き締めて、矢印を目当てに巨石を下っていく。背中のピッケルが当たる。樹林帯に入って、ようやくほっとした。凍っている所は少なく、雪の中を駆け足のように下っていく。雪がなくなると、落ち葉やまつぼっくりもたくさんある道となる。不動清水の水は長命水と呼ばれる湧き水だそうで、癒されたが、疲れてきた足には長〜い下りであった。

初めて登った西岳と編笠山2つの山、約7時間の山行でした。西岳から青年小屋への源治新道は積雪が深く、下るのに時間がかかった。編笠山樹林帯の雪道を下るのも然り。雪道歩きの技術をもっとレベルアップしなくてはいけないなあと反省しました。

注・鉢巻道路の別荘への入り口は「昭和島キャンプ場入口」「府中市所有地」の看板が目印



西岳から編笠山



編笠山頂上  
実際は強風



編笠山直下

青年小屋



千葉からきたワンちゃん



編笠山途中  
バック  
右が権現岳

